

ヘリコプターの操縦士・整備士に 興味を持ってもらうための取組

-熊本県防災消防航空隊-



■セッション

- 熊本県防災消防航空隊の紹介 -

- 取組み① -

- 取組み② -



熊本県防災消防航空隊

- 紹介 -

■熊本県

人口：1,734,629人

面積： 7,409km²



世界最大級のカルデラを有し
雲海に浮かぶ「阿蘇山」

加藤清正から細川氏へ受け継がれた
「熊本城」

■熊本県総合防災航空センター



熊本県防災消防ヘリコプター「ひばり」

熊本県警察ヘリコプター「おおあそ」

合同基地

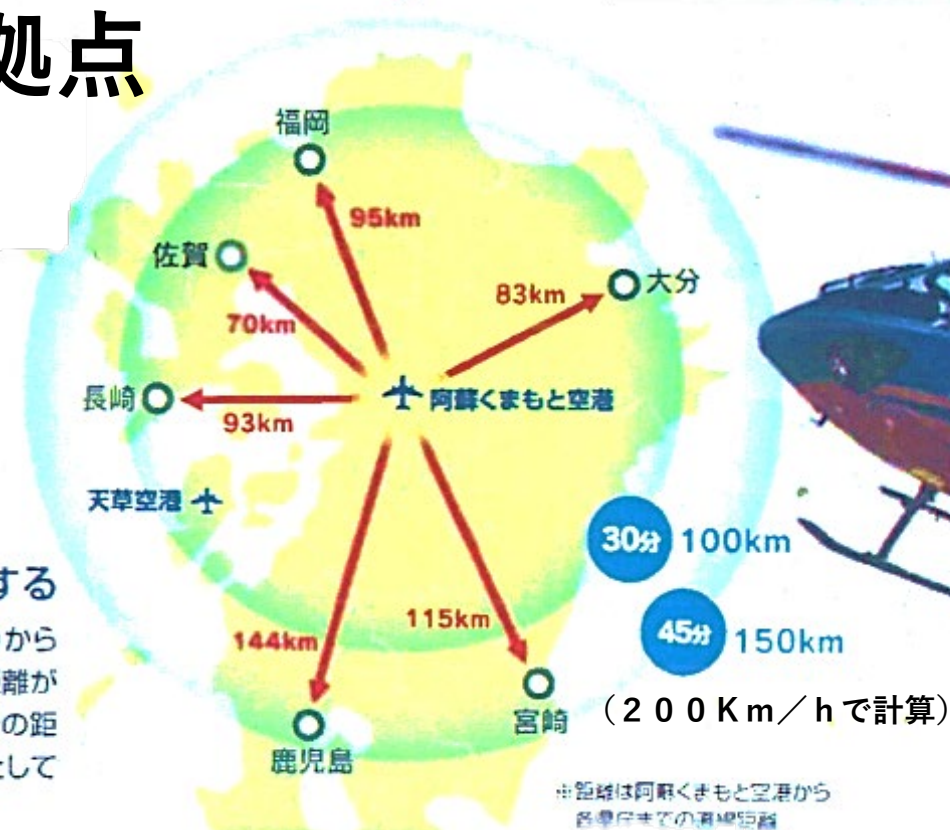
平成29年 稼動開始

■熊本県総合防災航空センター

熊本県防災消防航空隊
「ひばり」

九州を支える広域防災拠点

九州の中央に位置する
熊本県(阿蘇くまもと空港)から
各県(県庁所在地)までの距離が
100km(ヘリで片道30分の距離)
前後のため、活動拠点として
最適。



熊本県警察航空隊
「おおあそ」

■活動実績（H20-R2）

区 分	火 災	救 助	救 急	その他	広域応援	計
平成20年	4	16	303	0	22	345
平成21年	5	30	299	0	30	364
平成22年	8	23	311	1	23	366
平成23年	4	15	343	1	41	404
平成24年	2	40	305	5	6	358
平成25年	2	22	341	0	21	386
平成26年	3	19	375	0	11	408
平成27年	2	17	300	4	22	345
平成28年	1	22	465	9	23	520
平成29年	6	7	312	2	15	342
平成30年	9	25	393	1	25	453
令和元年	4	21	307	2	19	353
令和2年	4	47	182	12	18	263

※平成20年から転院搬送により転院先病院から転院元病院に医師を搭乗させたときは「医師搬送1件、転院搬送1件」の2件計上とする。

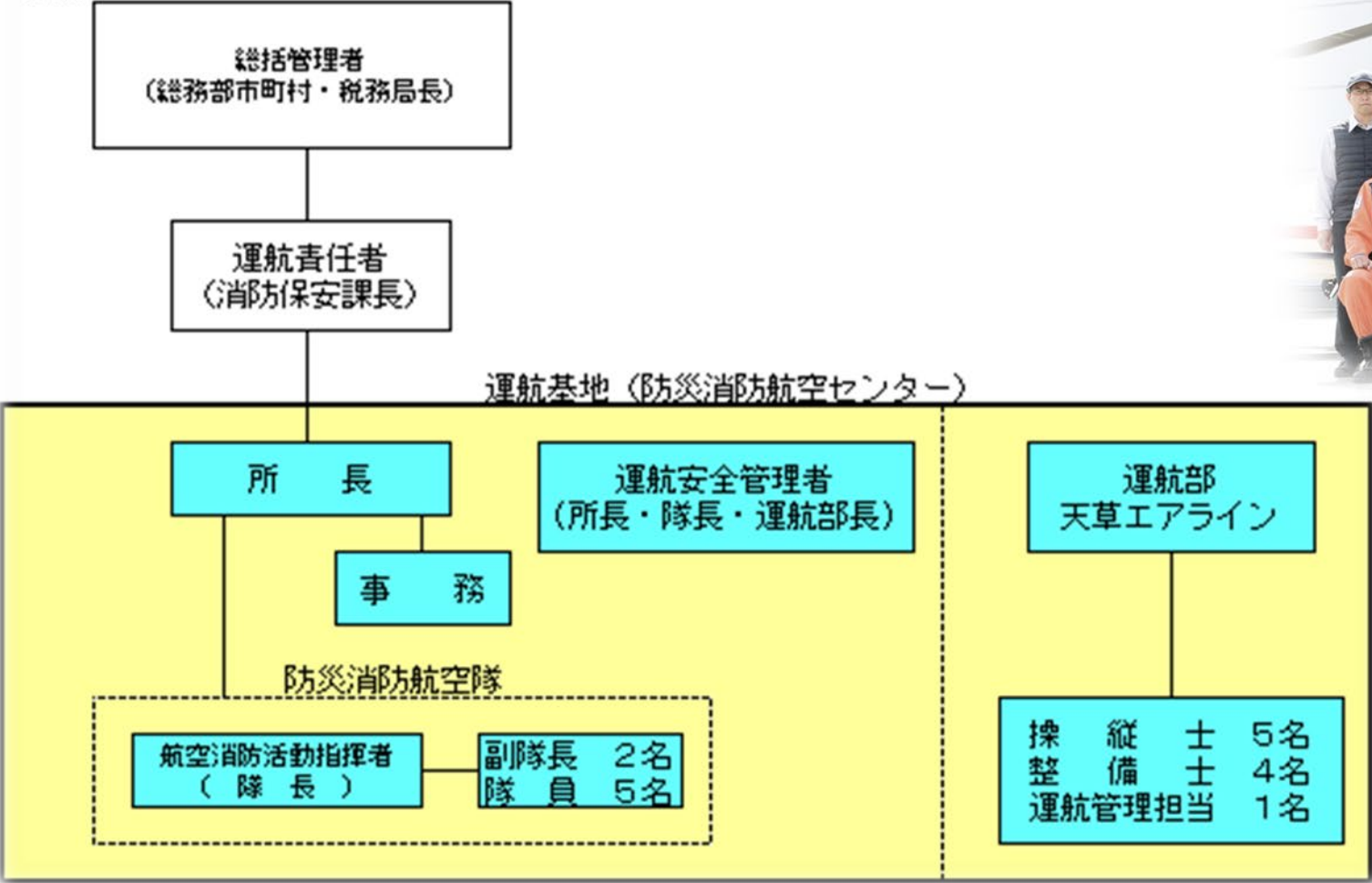
※平成24年1月16日から熊本県ドクターヘリ運航開始。

■活動実績（H29-R1〔全国〕）

平成29年中消防防災ヘリ出動件数			平成30年中消防防災ヘリ出動件数			令和元年中消防防災ヘリ出動件数		
	団体名	出動件数(機体数)		団体名	出動件数(機体数)		団体名	出動件数(機体数)
1	東京消防庁	502(8)	1	東京消防庁	568(8)	1	東京消防庁	512(8)
2	札幌市消防局	356(2)	2	熊本県	453(1)	2	札幌市消防局	398(2)
3	神戸市消防局	342(2)	3	札幌市消防局	395(2)	3	熊本県	353(1)
	熊本県	342(1)	4	神戸市消防局	352(2)	4	神戸市消防局	295(2)
5	群馬県	210(1)	5	高知県	230(2)	5	山梨県	187(1)
6	高知県	200(2)	6	広島市消防局	205(1)	6	茨城県	176(1)
7	島根県	198(1)	7	島根県	161(1)	7	宮崎県	174(1)
8	北海道	187(1)	8	兵庫県	149(1)	8	福岡市消防局	167(2)
9	福岡市消防局	177(1)	9	宮崎県	142(1)	9	兵庫県	166(1)
10	山梨県	173(1)	10	北海道	139(1)	10	島根県	156(1)

■ 運航体制

組織



《整備士確保に向けた取組み》

- 取組み① -

■宇宙航空システム工学科 学生20名

研修目的：学術面での教育に加えて、実業フィールドに身を置いたアクティブラーニング



■熊本県防災消防航空センターにて研修を実施

学生 20 名 (A 班 10 名・B 班 10 名)

航空センター長挨拶

14:30～15:10 A 班 講義 「ブリーフィングルーム」

14:30～14:50 B 班 操縦説明「格納庫」担当：操縦士

14:50～15:10 B 班 機体説明「格納庫」担当：整備士

15:20～16:00 B 班 講義 「ブリーフィングルーム」

15:20～15:40 A 班 操縦説明「格納庫」担当：操縦士

15:40～16:00 A 班 機体説明「格納庫」担当：整備士

防災消防ヘリの活動実績説明

操縦士による機内説明

航空整備士による機体説明

熊本県内私立大学からの研修受け入れ

- 取組み① -

学生 20 名 (A 班 10 名・B 班 10 名)

航空センター長挨拶

14:30～15:10 A 班 講義 「ブリーフィングルーム」
14:30～14:50 B 班 操縦説明「格納庫」担当: 操縦士
14:50～15:10 B 班 機体説明「格納庫」担当: 整備士
15:20～16:00 B 班 講義 「ブリーフィングルーム」
15:20～15:40 A 班 操縦説明「格納庫」担当: 操縦士
15:40～16:00 A 班 機体説明「格納庫」担当: 整備士

《 主な内容 》

《ヘリコプター概要について》

- ☐ 新「ひばり」の装備及びその他
- ☐ 映像伝送システムについて(ヘリテレ・ヘリサット)
- ☐ ヘリコプターの特徴について
- ☐ 運航活動実績と訓練概要

《運航について》

- ☐ 緊急運航と通常運航について
- ☐ 救助・火災・情報収集・救急(現場救急、病院間搬送)
- ☐ 大規模災害時のヘリコプター活動拠点について
- ☐ 令和2年7月豪雨活動概要



2021/3/15

《 KUMAMOTO AIR RESCUE TEAM2021 》

13

熊本県内私立大学からの研修受け入れ

- 取組み① -

学生 20 名 (A 班 10 名・B 班 10 名)

航空センター長挨拶

14:30~15:10 A 班 講義 「ブリーフィングルーム」

14:30~14:50 B 班 操縦説明「格納庫」担当：操縦士

14:50~15:10 B 班 機体説明「格納庫」担当：整備士

15:20~16:00 B 班 講義 「ブリーフィングルーム」

15:20~15:40 A 班 操縦説明「格納庫」担当：操縦士

15:40~16:00 A 班 機体説明「格納庫」担当：整備士

《 主な内容 》

《 操縦士になるために必要な事 》

- ☐ 操縦士として職に就くために必要な免許や取得方法
- ☐ 操縦士としての仕事はどのような業務があるか
- ☐ 消防防災ヘリの仕事内容説明
- ☐ ヘリ事業会社の仕事内容説明

《 操縦系統 》

- ☐ サイクリックスティック・コレクティブピッチレバー・ペダル
- ☐ どのように操作・操縦しているのか
- ☐ 各飛行形態での操縦方法について
- ☐ HOVについて及び操縦の難しさやヘリだからできる飛行形態



2021/3/15

《 KUMAMOTO AIR RESCUE TEAM2021 》

熊本県内私立大学からの研修受け入れ

- 取組み① -

学生 20 名 (A 班 10 名・B 班 10 名)

航空センター長挨拶

14:30~15:10 A 班 講義 「ブリーフィングルーム」

14:30~14:50 B 班 操縦説明「格納庫」担当: 操縦士

14:50~15:10 B 班 機体説明「格納庫」担当: 整備士

15:20~16:00 B 班 講義 「ブリーフィングルーム」

15:20~15:40 A 班 操縦説明「格納庫」担当: 操縦士

15:40~16:00 A 班 機体説明「格納庫」担当: 整備士

《 主な内容 》

《 機体の概要について 》

- ☐ 型式、名称(名称の由来) 機体の設計用途
- ☐ カラーリングの意味 最大搭乗者数
- ☐ メインローターとテールローターの回転速度
- ☐ テールローターの目的と特徴(タイプの名称の由来)

《 エンジン等について 》

- ☐ エンジンの型式 エンジンの1基当たりの馬力
- ☐ 燃料タンク容量
- ☐ 機体の値段(部品の値段)
- ☐ 特殊装備説明 ホイスト・アタック・カーゴスリング・バンビバケツ



2021/3/15

《 KUMAMOTO AIR RESCUE TEAM2021 》

15

《A学生》

人の命を救っていく姿は見ていてとてもすてきだなと感じました。
整備士の方もいろいろ教えてくださり、ヘリコプターへの興味がますます深まりました。

《B学生》

空中で止まることのできる唯一の航空機。今まで固定翼ばかりに目が行きがちでしたが、今回でヘリコプターにも興味が湧き、もっと知りたいと感じた。

《C学生》

普段は立ち入ることのない施設で、非常に貴重な体験でした。操縦士さん、整備士さんと直接お話しができ、この価値観や学習を役立てたいと考えています。

《D学生》

防災消防航空隊という職業についてほとんど知らなかった。
このような職業もあるということを知ることができ、また一つ幅が広がったと感じた。

熊本県内私立大学からの研修受け入れ

- 取組み① -

《E学生》

私達は、飛行機の方を主に勉強していたのでヘリの事はあまり知らなくて申し訳ない気持ち。防災航空センターは滅多に立入りもできないし、認知されていない職業と再確認しました。

《F学生》

防災ヘリを見た感想は「一こと言ったらカッコよかったです。私はヘリコプターが大好きで将来もヘリ関係の仕事に就きたいと考えています。今回、操縦士や整備士から直接話を聞くことができ本当に貴重な体験でした。

《G学生》

ヘリコプターはよく見ると左右対称ではなかったり、プロペラ一つ数千万円もするというのを聞き驚きました。

《H学生》

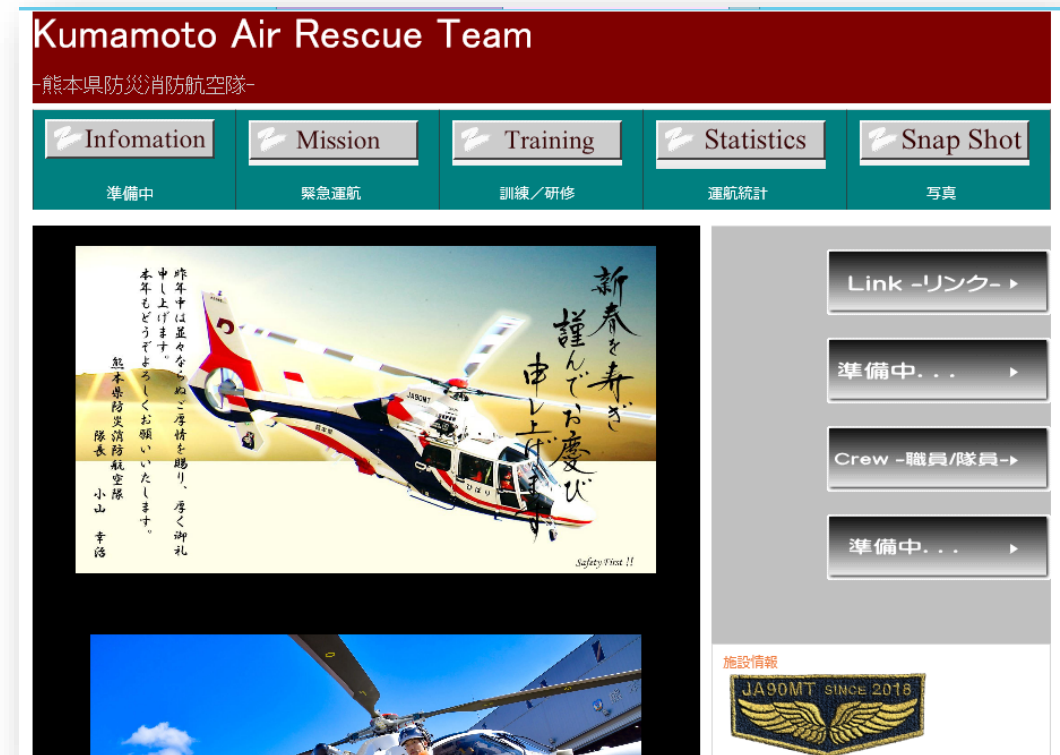
熊本県の防災ヘリの出動件数の多さに驚きました。
他の県では複数機ヘリを所有しているところもあるので熊本県もヘリを増やしたら良いと思う。

《整備士確保に向けた取組み》

- 取組み② -

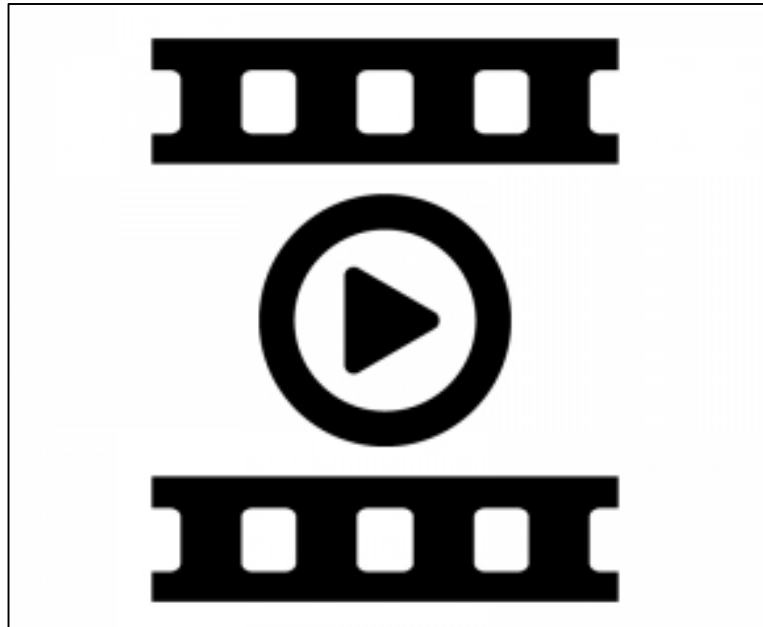
■操縦士、整備士にフォーカスした映像を作成しHPへアップロード

目的：ヘリコプターの操縦士・整備士に興味を持ってもらうため



※熊本県防災消防航空隊の隊員が運営する非公式の公認サイト

■操縦士、整備士にフォーカスした映像





2021/3/15

《 KUMAMOTO AIR RESCUE TEAM₂₀₂₁ 》

END